

## 2021・小学校低学年「あなふさぎのジグモンタ」

この本をよむまでは「ジグモ」について知りませんでした / きょうみがありませんでした / 気もちわるいとおもいました。でもこの本のジグモのジグモンタは、と思いました。

(たいせつなもの / だいじにしているもの / 思い出のあるもの) を、だれかに「いらぬい / すててもいい」と言われたらという気もちになるので、  
ジグモンタの気もちがだと考え / と感じました。

もし私がジグモンタだったら、せつくなおしたものをいらぬいと言われたら、  
と言う / 感じる / 考える と思いました。

もし私なら、だからです。

私が一番好きな / かんどうした / うれしかった 場面はです。

この場面を読んでと感じました / 思いました / 気もちになりました。

たとえおなじものでも、それぞれで (たいせつに思う気もちがちがう / がちがちがう) ということに気づいて、  
と思いました / 考えました。

私は (たいせつなものをこわしてしまった体験) のとき、  
だと思いました。

(こわしてしまったもの) が もとどおりになった / あたらしくこうかんした / あきらめてすててしまった ときは、  
だと考え / と感じました。

私は お母さん / お父さん / 身近な人 の意見も 聞いてみようと思いました / 聞いてみたくなりました。

私は、△△△(身近な人) に、「△△△のたいせつなものってなに?もしこわれたらどうする?」と聞いてみました。

△△△ は、(答えてくれたときのようす / こまった顔で / 笑いながら / 少し考えこんでから / まじめな顔をして)  
「(たいせつなもの) がこわれた / 失くした ときは、だと思おう」と答えました。

私は△△△の答え / お話 / 意見を聞いて、  
と思いました / 考えました。

私はこの本を読む前は、ものをなおして使う / たいせつに使う / 長く使うためにしゅうりする ということを、  
考えたことがなかった / りかいしていなかった / ひつようだと思っていなかった けど、この本を読んで  
と思うようになりました / 考えるようになりました。

なぜならだからです。